

## 非生物由来で患者の血液凝固能に依存しない 新しいタイプの外科用止血材を新発売

胸部大動脈、弓部分岐動脈と人工血管の吻合に使われる外科用止血材

三洋化成工業株式会社  
(証券コード：4471)

三洋化成工業株式会社（本社：京都市東山区、社長：安藤孝夫）は、外科手術において動脈と人工血管の吻合\*（ふんごう）部に使われる新しいタイプの止血材として、2011年12月20日に医療機器の薬事承認を取得しました。本製品は当社が製造し、医療機器メーカーのテルモ株式会社が「Hydrofit（ハイドロフィット）」のペットネームで日本国内の医療機関向けに、2014年2月4日から販売します。尚、本製品は当社にとって初の医療機器となります。

薬事承認取得日：2011年12月20日

医療機器承認番号：22300BZX00467000

販売名：マツダイト（ペットネーム：Hydrofit（ハイドロフィット））

一般的名称：中心循環系非吸収性局所止血材

保険適用範囲：胸部大動脈、弓部分岐動脈における人工血管吻合部

\*吻合：外科手術における手技の一つで、血管と血管を縫い合わせてつなぐこと。

### 【一般的な外科用止血剤と当社の止血材について】

外科用止血剤は、外科的処置による止血を補助する目的で吻合部に塗布して使われます。ヒトや動物の血液を原料として製造されるフィブリン糊が、一般的に多く使われています。フィブリン糊は、止血性能が患者の血液凝固能に依存しているために、血液凝固能が低下した状態では止血効果が得られにくい場合があります。

当社は、非生物由来で患者の血液凝固能に依存しない、新しいタイプの外科用止血材を開発しました。これは、当社のコア技術であるウレタン技術を応用した合成系の止血材です。シリンジに充填された含フッ素ポリエーテル系ウレタンプレポリマー（重合を最適な状態で止めた中間生成物）の両末端にある反応性のイソシアネート基が、患者の生体組織表面に存在する水分に反応して、数分で組織接着性に富む硬化被膜を形成することで、高い止血性が期待できます。

### 【Hydrofitの特長】

- ① 患者の血液凝固能に依存せず、生体組織表面に存在する水分を利用して反応が進み、数分で組織接着性に富む硬化被膜を形成するため、高い止血性が期待できる。
- ② 硬化被膜が生体軟組織の拍動などの運動に対して追随する柔軟性を持つ。
- ③ ヒトや動物に由来する原材料を使用しない合成系の止血材なので、ウイルス感染のリスク低減が期待できる。

<本件に関するお問い合わせ先>  
三洋化成工業株式会社 広報部  
電話 075-541-4312